

7. カンキツ品種データベースを作成

1. 背景とねらい

カンキツ類は、生食用としての利用のほか、その機能性等に着目した研究も活発化しており、農業、食品、医療など多分野で活用されている。県内においても各地域、企業、大学等において地域特産品の開発、加工食品開発、機能性研究等の素材として利用されている。そこで、開発素材となる品種の情報をわかりやすく提供するため、カンキツ品種の特性情報を一元的にまとめ、容易に検索・閲覧できるデータベースを構築する。

2. 成果の内容

- 1) 本データベースは、国内外栽培品種及び台木品種 466 品種について、分類、果実特性、果実及び樹体画像を収録している。データは、2007 年から 2008 年にかけて尾道市瀬戸田町で調査・撮影したものである。
- 2) 目的に応じて、カード表示、リスト表示、品種選択、データ検索の 4 つのメニュー（図 1）から選択して使用する。
- 3) カード表示画面（図 1）では、1 品種ごとに分類、果実特性、果実及び樹体画像を表示し、全情報を 1 枚のカードとして印刷できる。
- 4) リスト表示画面（図 2）では、画像以外の情報を一覧表として閲覧が可能で、来歴情報と果実特性情報とにわけて印刷することができる。
- 5) 品種選択（図 3）では、目的の品種を選択し、選択した品種だけをカード表示及びリスト表示させることができる。
- 6) データ検索（図 4）では、分類、品種登録情報、果実特性などのデータにより、目的とする品種を検索できる。

3. 利用上の留意点

- 1) 利用環境は、OS : Microsoft Windows Me 以降、ハードディスク空き容量 : 600MB 以上、ソフトウェア : Microsoft Access2000 以降又は Internet Explorer 等のブラウザである。
- 2) このデータベースは、利用希望者に CD で配布する。問合せ窓口は広島県農業技術センター栽培技術研究部および果樹研究部。
- 3) 利用方法の詳細はマニュアルを参照する。

（栽培技術研究部・果樹研究部）

4. 具体的データ

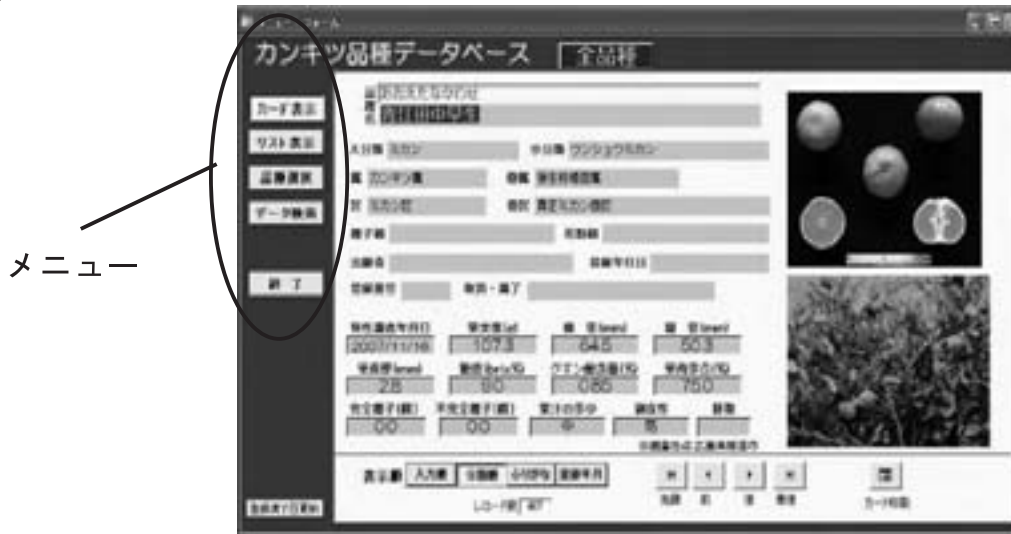


図 1 カード表示画面



図 2 リスト表示画面



図 3 品種選択画面



図 4 データ検索画面